

岡山大学の AO 入試・推薦入試について

岡山大学 垂水共之

1. 岡山大学とは

11 学部・1 コース・7 研究科（連合大学院を含む）

学部学生定員 2198 人+80 人（二年次、三年次編入）、収容定員 9173 人+185 人

国立大学法人 86 大学、学部生を持っている大学 82 大学中、12 番目

2. 今までの経緯

平成 16 年 4 月 学内措置でアドミッションセンター設置（専任教員なし）

平成 17 年 4 月 専任教員 3 名

平成 18 年度 AO 入試を開始

平成 17 年度まで、全募集単位（医学部医学科を除く）で

一般入試前期日程、

一般入試後期日程

推薦入試（センター試験を課さないものが中心）

を実施（医学部医学科は一般入試のみ）

<平成 18 年度>

推薦入試を AO 入試に変更した学部等

教育学部、法学部、理学部（5 学科中 4 学科）、

薬学部、環境理工学部（4 学科中 3 学科）

MP コース

そのほとんどで一般入試後期日程を廃止

<平成 19 年度>

法学部、薬学部で後期日程を復活

<平成 20 年度>

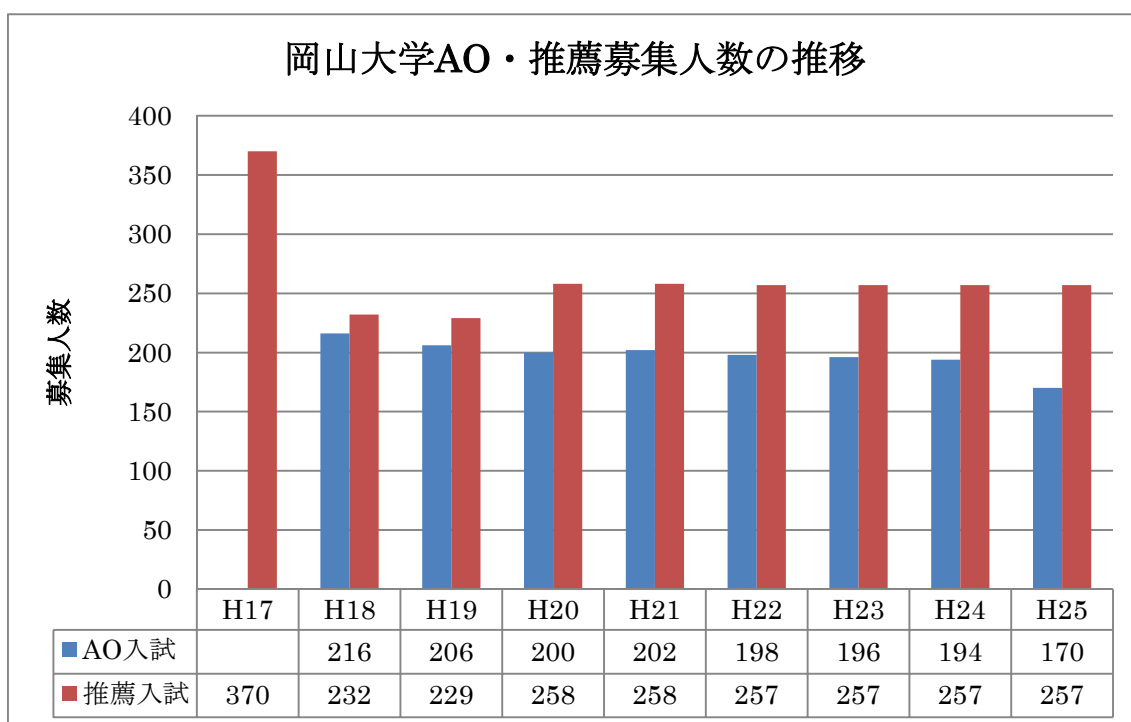
物理チャレンジコースを開始

<平成 24 年度>

国際バカロレア入試を開始

<平成 25 年度>

理学部 AO 入試を廃止し、一般入試後期日程復活



3. 推薦入試から AO 入試への転換

国立大学協会の方針として分離分割方式を行っているが、平成 18 年度から「分離・分割方式の弾力化」として、「分割比率の少ない日程の募集に推薦入学・AO 入試などを含めることについてはこれを妨げない」という方針が示された。岡山大学では検討の結果、希望者には複数回の受験機会を与えるという観点で、AO 入試を実施する場合には、一般入試の後期日程の廃止も可ということにした。これを受けて 5 学部で推薦入試から AO 入試へ転換し、そのほとんどで一般入試後期日程を廃止した。

4. 特徴的な AO 入試

4. 1 マッチングプログラムコース (MP コース) 10 名 (H18)、16 名 (H22 以降)

全学卒で募集し、MP コースとしての卒業。学士 (学術)。

幅広い分野に興味を持ち、自分で考える力を育ててきた生徒を受け入り、先進科学分野・国際連携分野などで活躍する人材を育成する新しい教育コース。

様々な分野に興味をも持ち、意欲のある学生を育てるためには、入学時や修学時に起こるミスマッチを解消し、目的志向力を高めるため、担任や、アカデミック・アドバイザーの指導の下で、将来の目標に対するマッチングを図る。

現代社会で求められている応用力や積極性を鍛え、課題解決能力を培う。

複数の学部・学科にまたがって科目を履修することにより、幅広い視野と高い専門性をあわせもった人材の育成を行う。

4. 2 物理チャレンジコース

H20 年度より募集人数 3 名

出願資格

全国物理コンテスト「物理チャレンジ」に参加し、第 2 チャレンジに出場した者(H25)

全国物理コンテスト「物理チャレンジ」に参加し、金賞、銀賞、銅賞または優良賞を受賞した者(H20)

選考方法： 書類審査のみ

志願者数： 0+2+1+1+1+1=6 名 (H20～H25)

4. 3 国際バカロレア入試

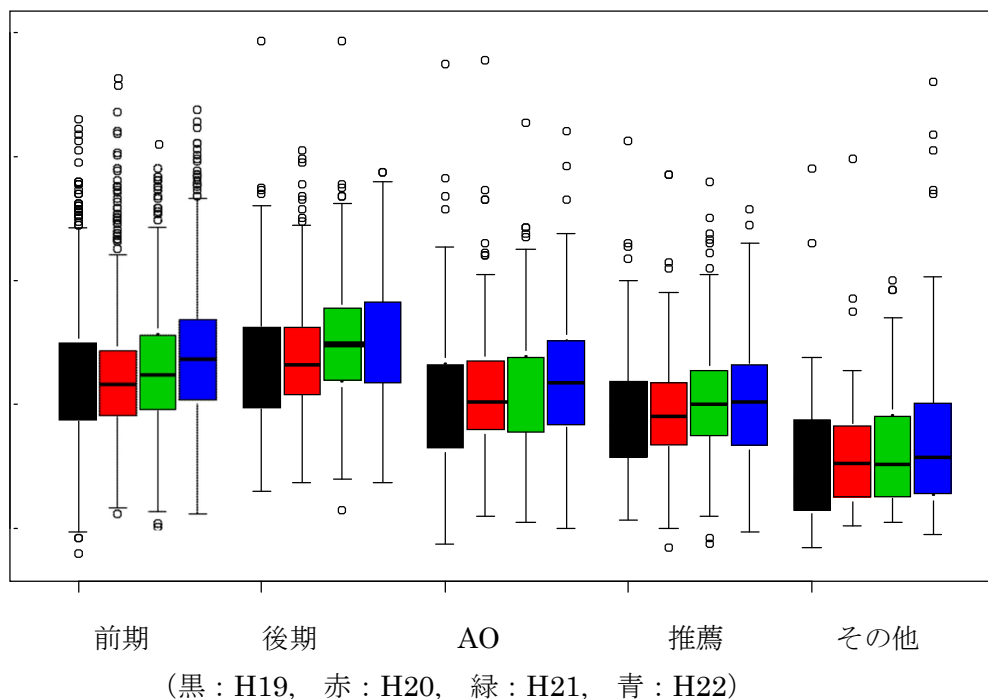
H24 年度より理学部、医学部保健学科、工学部、農学部、MP コースで開始

出願資格 国際バカロレアディプロマ資格を有し、指定の科目を上級レベルで履修 ほか

志願者数： 1(H24)+1(H25)

5. どんな学生が取れているか

岡山大学では平成 19 年度の入学生から全員に TOEIC-IP を受験してもらい英語のクラス分けを行っている。大学入学時点の基礎学力の一つとして、入試方法別に集計すると次の通り、一般入試の後期日程、前期日程に比較して、AO 入試、推薦入試で入学した者はスコアが低い傾向にある。



これが 4 年後の卒業時の大学の成績で見ると、AO、推薦入試で入学した者と、一般入試で

入学した者との間にはほとんど有意な差はなくなるし、学部学科によっては逆転する。

ここから浮かび上がるのは「入学後もまじめに勉強する」「入学した学部・学科には向いている」という学生像である。

ただ、大学での成績に有意な差がないのであれば、一般入試に比較して「手間のかかるAO入試」を続ける意味があるのか問われ始めている。